

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月3日(日) 決勝

Nコート 第1試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		24 - 15 15 - 30 17 - 23 24 - 10	78	チームB
桜花学園	80			東京成徳
愛知				東京

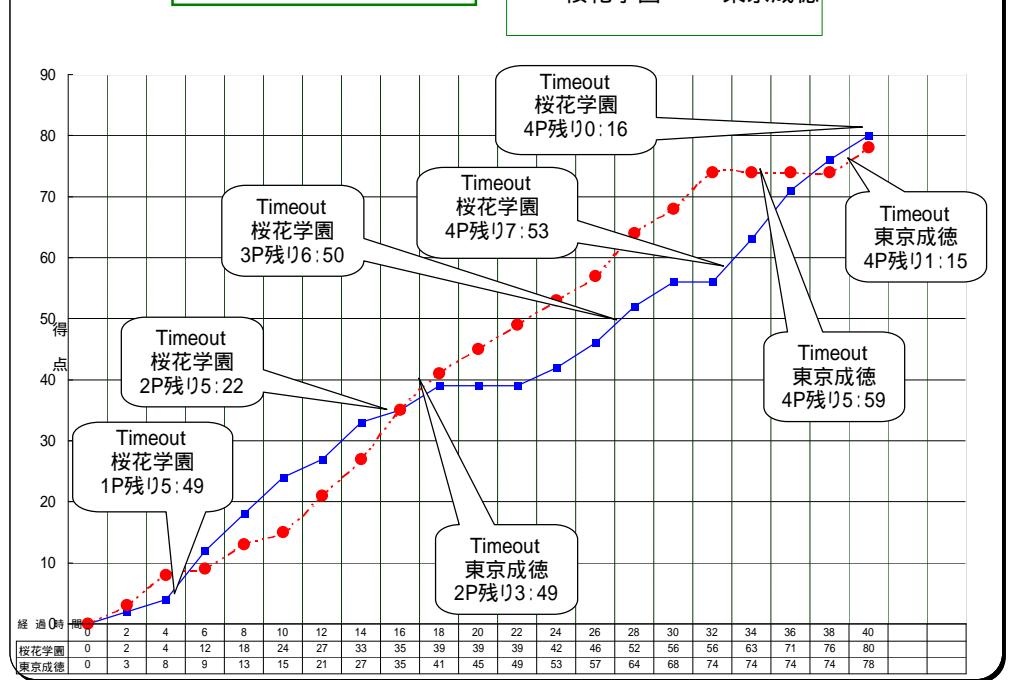
桜花学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	後藤美紀	✓	15	1	2	6	8	0	0	0	0	0	3	2	2	0	21
5	外山優子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	岡本彩也花	✗	23	3	8	7	18	0	0	1	2	3	2	0	3	0	40
7	水島沙紀	✗	4	1	4	0	2	1	3	4	0	1	0	1	2	0	20
8	丹羽裕美	✗	9	0	0	4	11	1	2	3	7	6	1	2	2	1	25
9	本多真実	✗	4	0	0	2	4	0	0	1	1	2	4	0	4	0	39
10	梅木智加子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	大西Δ-アリアソマどか	✓	4	0	0	2	5	0	0	1	2	1	1	0	0	0	19
12	長尾咲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	村瀬瞳子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	磯部夏紀	✓	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
15	渡嘉敷来夢	✗	21	0	0	10	16	1	2	3	1	7	1	0	0	4	34
コーチ	井上真一									0	1	6	1				
出場: ×は先発、/は出場			80	5	14	31	64	3	7	14	15	26	13	5	13	5	200
確率				35.7%		48.4%		42.9%			計	41					

東京成徳

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	間宮佑圭	✗	24	0	1	10	18	4	8	2	9	13	2	1	0	1	38
5	宮崎優子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	水野圭子	✓	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2
7	篠原恵	✗	23	0	0	11	21	1	2	2	4	2	6	4	0	2	40
8	金子実由紀	✗	7	1	6	1	3	2	2	3	0	3	0	2	6	0	40
9	山本千夏	✗	19	3	5	3	7	4	4	1	1	3	1	1	1	0	40
10	工藤安沙子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	野間星来		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	小島つばさ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	小山結佳	✓	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
14	小林麻衣		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	森木乃美	✗	5	1	4	1	5	0	0	1	0	3	1	0	0	0	38
コーチ	下坂須美子									0	3	4	3				
出場: ×は先発、/は出場			78	5	16	26	56	11	16	10	17	29	14	8	7	4	200
確率				31.3%		46.4%		68.8%			計	46					

2分毎による得点の推移



戦評

桜花学園は#15渡嘉敷、東京成徳は#5宮崎、#10工藤、#11野間が地元埼玉の出身。両チーム、ツインタワーを擁して、高さを活かしたゲーム展開が見どころとなる。桜花学園はインターハイ3年連続16回目、東京成徳は3年ぶり5回目の優勝を狙う。女王の座はどちらの手に、優勝常連校同士、本庄の地で決戦の火蓋は切って落とされた。

第1P、共にハーフコートマンツーマンでスタート、東京成徳#9山本の3P、桜花学園#6岡本の2Pで得点が始まった。桜花学園#6岡本のレイアップシュート、東京成徳#7篠原のターンシュートと一進一退の展開が続く。桜花学園#15渡嘉敷のゴール下シュート、#9本多の2Pシュートで逆転。12対9と桜花学園リード、2分30秒、東京成徳24秒オーバータイムで、桜花学園がリズムをとり、24対15で第2Pへ。

第2P、東京成徳#8金子の3P、桜花学園#4篠原の3Pでゲームが動く。6分5秒、桜花学園#15渡嘉敷が3つ目のファウルでベンチへさがる。ゲームの流れが東京成徳へ傾きかけたところで、5分22秒桜花学園がタイムアウト。東京成徳#4間宮のリバウンドシュート、#9山本の3Pで33対33と同点になる。3分49秒、東京成徳が35対35と同点の場面でタイムアウト。東京成徳#4間宮、#7篠原の2Pで37対41とリードをひるげる。高さが有利になった東京成徳が39対45、6点リードで後半戦へ。

第3P、桜花学園は3ファウルの#15渡嘉敷をスタートからラインナップ。東京成徳#7篠原の連続ゴールで39対49、東京成徳10点リード、8分東京成徳#4間宮、左肩強打の負傷で一時的ベンチへ。流れは一進一退。6分50秒、桜花学園タイムアウト。6分29秒、東京成徳#4間宮がコートに立つ。東京成徳#4間宮、#7篠原の2P、桜花学園#15渡嘉敷の2Pで一進一退が続く。桜花学園#4篠原、#6岡本の2Pで食い下がりますが、東京成徳#15森の3P、#7篠原の2Pで56対68、東京成徳の12点リードで最終ドリドへ。

第4P、東京成徳#4間宮のターンシュート、#7篠原のゴール下シュートでスタート。桜花学園はシュートを打つことがとことく(リングにきられ)7分53秒、たまたずタイムアウト。7分6秒、桜花学園#7水島のフリースロー3本を得る。桜花学園#7水島、#6岡本の2連続3Pで66対74と8点差に迫る。さらに桜花学園#15渡嘉敷の連続ゴールでついに逆転。76対74、残り1分15秒、東京成徳78対74となったところでタイムアウト。実に22点を巻き返す。残り16秒、東京成徳#4間宮がバスケットから2P、80対78、桜花学園2点リードでタイムアウト。桜花学園がボールをキープして、熱戦に終止符を打つ。

主審	平育雄	副審	中嶽希美子	戦評	杉田一也 (埼玉県高体連)
----	-----	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット